

安曇野市商工会報

The Magazine For Azumino City Society of Commerce & Industry



Photo / 「五月の風」(ほりがね道の駅)

安曇野風景写真コンテスト入選作品 (撮影: 島野 宏)

主催: 実行委員会・安曇野市商工会堀金支部青年部

vol. **27**
2014.4.22

会長あいさつ

春暖の候、会員各位におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は、当商工会に対しまして甚大なご支援ご協力をいただいておりますこと、厚く御礼申し上げます。

平成25年度の日本経済はアベノミクスによる大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略の三本の矢による景気浮揚の実現に期待を寄せた年でありました。その効果については大企業、輸出企業を中心に企業収益は回復し、株価も持ち直しましたが、地域の中小零細企業にとっては実感が乏しく感じられます。今春には景気回復基調が持続するかどうかを占う最初のハードルがやってきました。4月1日より消費税率が8%に引き上げられ、それによる景気の落ち込み懸念と、世界経済の減速もあり心配されるところであります。

25年度の安曇野市商工会は、経改事業と地域振興事業の遂行に邁進して参りました。24年度からの継続事業の街路灯LED化事業は、国の補助金も得ながら市内の475本を切り替えることができました。本年度第一回目の「安曇野新そばと食の感謝祭」を11月16日(土)、17日(日)に開催し、商工会役職員をはじめ行政、諸団体から絶大なご協力をいただき成功裡のうちに次回へつなぐ事ができました。各方面各々の方に深く感謝と御礼を申し上げます。また、成人式を迎える900名の若い皆様方に生まれ育ち学んだ地域を愛し、良さを見直し知ってもらうべく成人式振興券を発行し200名余の人にご利用いただきました。地域に

いる人はもとより地域外に出ている若い皆様方から認知され今後も利用、愛顧いただければ幸いな事であると思えます。

また商工会27年度問題の解決に取り組むべく「27年度問題解決特別委員会」を設け協議いたしました。27年度問題とは平成27年度から県の補助金が従来より約3割カットされる事によるものであります。平成22年に打ち出され助走期間5年を経て実施されます。この事については合併時31人いた職員を現在22人に減員して対応して参りました。財政面では概ねクリアしております。現在5支所、5支部が各々地域振興事業の活動拠点として存在しておりますが、安曇野市商工会全体の効率、能力を発揮するには分散し過ぎの感は否めません。効率を図るべく最大の効果を発揮できる体制を整えるべく本・支所統合についての協議もなされましたが、統合には各支部を取り巻く環境が整っておらず時期尚早との結論に至りました。この問題は26年度も継続して今後の安曇野市商工会の在り方について会員の理解を得ながら実情を充分把握しながら地域経済団体として、より良い方向性の検討を深めていく事を確認いたしました。

安曇野市商工会は、地域の発展、活性化に向け行政との連携を密にしながら進化して参ります。「これでいい」という言葉があります。妥協での「これでいい」ではなく、明晰で、自信に満ちた「これでいい」を目指して参ります。会員各位の絶大なご支援ご協力をお願い申し上げます。



齊藤会長

平成25年度重点事業・地域振興事業

新そばと食の感謝祭

安曇野市商工会として行う「安曇野そば祭り」(仮称)をまったく新規の企画としてゼロから取り組みました。まず事務局による企画会議を2か月で計7回開催しました。(第1回 5/24 第2回 5/29 第3回 6/6日 第4回 6/14 第5回 7/4 第6回 7/18 第7回 7/22) その中で、主旨、コンセプトから開催内容まで盛り込んだ実施計画書を作成し、実行委員会組織と実施スケジュールの案を作成しました。

8月に第1回目の実行委員会を開催し、それ以降は5つの部門別に詳細の検討に入りました。「会場設営・環境整備部門」(菅澤穂高支部長)、「販促・集客促進部門」(丸山豊科支部長)、「新そば・旨いもの&スイーツ部門」(豊田観光特産飲食部会長)、「イベント事業部門」(高橋副会長)、「食の感謝祭部門」(大倉副会長)であります。それぞれの部門において果たすべき役割、責任を全うし、連携して取り組むべきものについて



賑わいを見せた2日間

は連携して行いました。

開催当日は、天候にも恵まれ1日目が約12,000人、2日目が約18,000人と計約30,000人の来場者がありました。新そば販売はお客様の列が途絶えることがなく2日間で10000食の提供、おひさま御膳、野菜スイーツはいずれも好評で販売開始後わずか完売となりました。また、地元産品の販売やステージイベントも活況がありました。

安曇野の豊かな食を市外にPRするという第一義的な目的の達成とともに、地元の食を扱う多くの事業者の連携を強めていくことができる契機、機会として、今後、継続して開催していくことが重要になってまいります。

安曇野ブランドの創設・設立

地域活性化重点事業の中に安曇野ブランドの創設、新商品開発、販売促進、広報などがありますが、主に観光・食品製造・飲食系の会員事業者を対象に実施しました。

内容は1) 同業・異業・行政力を相乗させる為の橋渡し、交流機会づくり支援。2) 市場情報を収集し会員企業が判りやすく使いやすい形に解析・加工して提供。3) 市場情報の解析結果を基に市内外、県外への販路開拓戦略提案です。

具体的には長野県主催の「マーケティング・セミナー」参加支援。松本大学と共に「そば」「わさび」「規格外農産物」の活用目的事業の支援。各種商談会、物産展への参加支援では一つとして3月に幕張メッセで開催された「Foodex Japan 2014」に市内より4企業が出展、東南アジアからのバイヤーも増加しており引き合いも多くありました。これからも地域産業の活性化に取り組んでまいります。

明科駅周辺の開発・整備について

明科駅周辺開発・整備にかかるアンケート調査へのご協力ありがとうございました。

H26年1月に商工会から会員の皆様に、アンケート調査を実施しました。明科地域を安曇野市の交通拠点整備をするための現状と課題を抽出し、交通アクセスの今後の方向性や市内産業の更なる発展振興を検討する基礎資料作成の為



明科駅舎

にアンケート調査を行い、ご回答いただいたデータは松本大学にて集計・分析させていただきました。

アンケート調査の中で見えてきたのは、交通だけでなくそれに付随する周辺施設や駐車場など複合要因を組み合わせた形での街づくりの必要性です。

皆様から頂いた声を現在取り纏め、今後の商工会の提言活動等の基礎データとさせていただきます。ご理解・ご協力ありがとうございました。

大型店施設へのテナント入店に対しての制度資金、補助金制定について

グループ会議、商業部役員会でのなかで将来的な制度設計、現況などを確認して参りました。全国的な事例をみると市街地活性化計画を策定するなど、集中的に施策がなされている箇所が多く見受けられました。

そのため大型店施設への支援制度についてはまだ課題も多く、まちづくりの機能としての側面もあることから、引き続き検討を重ねて参ります。

安曇野市成人式に依るまちなか活性化策について

今年1月に開催されました安曇野市成人式にて成人者に配布した市内飲食店で利用できる成人式振興券につかまして25店で利用があり、市内に約100万円の経済効果がありました。その内、当日懇親会場としては9店を利用され、2次会場として利用された店舗もございました。



成人式振興券の紹介

ある参加店舗の方からはじめて成人式の懇親会場として利用されたということも伺っており、成人者の皆様に安曇野のお店を知っていただく良い機会となったかと思えます。懇親会場におじゃましましたが、実行委員の方を中心に幹事をしていただき、会場の賑わいから若者のエネルギーを感じました。

商工会提携コーディネーターより

中小企業診断士 原 祐治氏

年度の区切りとして昨年度の活動を振り返りますと、販売促進の案件が多かったような気がします。販売促進というと最近ではITのイメージがありますが、むしろアナログの方が有効な場合もあります。いずれにせよ、伝える方法は多に越したことはありません。

実際にお手伝いさせていただくと、商品やサービスが優れていますが、これまで販売促進をしてこなかったため、何らかの効果をあげるケースが多くみられます。商品やサービスに力を入れることと同じくらい、販売促進にも力を入れることが大切だと感じています。

ところで増税によるお客さんの購買意識の低下を心配する声がある一方、消費の盛り上がりは力強く、心

理面でのデフレは解消に向かいつつあるという見方もあります。実際に高級アイスクリームなどのプチゼイたくが、回復傾向にあるようです。今後は、「価格重視」の消費から、「価値重視」の消費に移りつつあるのではないのでしょうか。

価格は不特定多数のお客さん呼び込むためには有効ですが、価値は特定のお客さん呼び込むのに適しています。規模の小さい事業さんでも、商売しやすい環境といえます。しかしながら、ほとんどのお客さんは明確な価値基準を持っているのではなく、こちらの伝えることのなかに共感を探すところがあります。販売促進が、これからのご商売のなかでも大きな鍵を握りそうです。



中小企業診断士 黒沢 正行氏

小規模企業向けの補助金が公募されています。申請が面倒で敬遠しがちな補助金ですが、小規模事業でも取り組みやすい補助金が現在、公募されています。「小規模事業者持続化補助金」と「ものづくり・商業・サービス補助金」です。

前者では、商工会の支援を受けながら経営計画を作成すれば、広告費や店舗改装費等に対して上限50万円（補助率3分の2）の補助が出ます。募集案内で、海鮮居酒屋の新サービス導入に伴うチラシ作成・配布代が例に挙げられているように、画期的な取り組みでなくても獲得できる補助金です。なお、雇用を増加さ

せる計画に対しては補助の上限が倍の100万円になります。

後者の小規模事業者型では、革新的なサービスで付加価値などを一定額増加させる計画を立てた企業に対し、50万円未満の機械装置、原材料、人件費などを対象に上限700万円（補助率3分の2）が補助されます。中でも「小規模事業者持続化補助金」は商工会指導員の指導を受けて、早めに申請すれば、高い確率で補助金が獲得できそうです。売上の拡大のために補助金の獲得に取り組んでみたらいかがでしょうか。



街路灯 LED 化工事を行いました。

市内街路灯のLED化工事を平成24年度、25年度事業として行い、LEDへの切り替え工事が完了しました。

従来より電気料が低くなり維持管理費の軽減とともに、環境にも配慮した地域づくりの一助となることを期待し、安心して地域のお店で買い物等ができるようになりましたので、是非お出かけくださいますようお願いいたします。



LED化された街路灯

松本大学との飲食業共同販売促進事業

年間を通してお客様が市内飲食店に足を運びたいくなるような仕組を構築し、にぎわいを創出することを目的に飲食店共同販売促進事業の企画・立案を松本大学の方に依頼しております。まず現状把握から飲食店全会員アンケート調査（第1次分）と松本大学学生の方による実地訪問調査（第2次分）を行いました。その結果から今後取り組む具体的な提案もいただき、過日飲食店会員向けの説明会を開催させていただきました。

この提案も含め26年度は6次産業化、規格外野菜の利用等の取組みとも全て関連させて共同販売促進事業を推進していく計画です。

安曇野“彩り”デジタルフォトコンテスト事業について

今年度より、堀金支部青年部が主体となり新たな写真コンテストを開催致します。「安曇野らしさ」をテーマに4つの部門を設けて募集します。広く一般の方からも気軽に応募していただくために写真提出の他、SNSからの投稿も受け付けます。募集期間は5月から12月、展覧会を2月頃予定しております。

部会報告

建設業部会事業について

昨年9月よりはじまった安曇野市商工会建設業コミュニティ事業（住まいの安心相談窓口事業）ですが、25年度末現在で成約件数が50件、成約金額が約1,900万円となりました。部会のスケールメリットを生かした共同販促事業として一定の効果が得られました。26年度も引き続き推進してまいりますので部会員の皆様のご登録のほどよろしくお願い致します。

また、こちらも26年度からの安曇野市の住ま居る応援制度（住宅リフォーム等補助金制度）工事店登録につきましては前回から引き続き、部会として団体一括登録をさせていただきますのでご了承下さい。



イラストはイメージです

職員リレーコラム No.4

穂高支所 主任経営支援員 宮澤一生

4月1日より三郷支所から穂高支所に異動となりました。

これまでは経営改善普及事業、地域振興事業の関係業務を主に行ってまいりましたが、山崎コーディネーターの転籍に伴い私がその業務を引き継ぐことになりました。

安曇野ブランド確立推進、6次産業化推進、異分野異業種連携推進が主な業務です。

会報などで前任者の大きな実績が報告されており、プレッシャーを感じておりますが、精いっぱい努力してまいります。

振り返ってみますと信州サーモンを全国発信したこともありました。その後関係者の皆様の熱意、ご努力により信州サーモンは段々とメジャーになってきております。企画倒れにならないよう取り組みますので、ご理解ご協力をお願いいたします。



中小企業庁 平成25年度補正予算事業 小規模事業者持続化補助金

をご活用ください！

経営計画にもとづき、商工会の支援を受けながら広告宣伝など販路拡大事業を行う小規模事業者に50万円を上限に補助金（補助率：2/3）がでます。ぜひご活用ください。

対象となる取組例	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広告宣伝……新たな顧客層の取組をねらい、チラシを作成・配布 ○ 集客力を高めるために店舗改装……幅広い年代層の集客を図るための店舗のユニバーサルデザイン化 ○ 商談会・展示会への出展……新たな販路を求め、国内外の展示会への出展 ○ 商品パッケージや包装紙・ラッピングの変更……新たな市場をねらって商品パッケージのデザインを一新
補助対象者	<ul style="list-style-type: none"> ○ 商工会地区で事業を営む小規模事業者 ※小規模事業者とは <ul style="list-style-type: none"> 卸売業・小売業（常時使用する従業員の数5人以下） サービス業（宿泊業・娯楽業以外 常時使用する従業員の数5人以下） サービス業のうち宿泊業・娯楽業（常時使用する従業員の数20人以下） 製造業その他（常時使用する従業員の数 20人以下）
補助率・補助額	<ul style="list-style-type: none"> ○ 補助率：補助対象経費の2/3（対象経費・詳細については公募要領をご覧ください） ○ 補助額：上限50万円（雇用の増加を伴う取組は上限100万円）
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ○ 申請の受付期限……～5月27日（火）17:00 申請窓口（長野県商工会連合会）必着 ○ 採択結果発表………6月下旬 ○ 実施………交付決定から平成27年1月31日の間に実施

★詳細・書式・公募要領等は <http://www.nagano-sci.or.jp/> をご覧ください。 ★お問い合わせ・お申込みは 商工会本所・各支所 担当者へ

お知らせ

平成26年度 安曇野市商工会総代会のお知らせ

開催日 平成26年5月21日(水)
 時間 午後2時より
 場所 安曇野スイス村サンモリッツ 中ホール

※総代の皆様には後日、案内文書をお送りいたしますのでご出席くださいますようお願いいたします。
 ※あわせて、総代会当日に永年勤続従業員表彰式を開催します。

平成26年度 労働保険年度更新について

平成26年度 労働保険年度更新の時期です!「賃金等報告書」「一括勇氣事業報告書(建設の事業のみ)」の提出期限が支所ごと異なりますのでご確認ください。スムーズな申告ができますようご協力をお願いいたします。

商工会館(穂高支所)及び駐車場の使用について

穂高会館改修に伴い、4月1日より穂高支所会館正面入り口及び駐車場への車両進入ができなくなっております。来館、会議室の貸出等、皆様には大変ご不便をおかけすることとなりますが何卒ご理解の上ご協力くださいますようお願いいたします。

穂高支部「花の里づくりプロジェクト」事業

国営アルプスあづみの公園二期地区開園に合わせまして、開園前の4月19日(土)に、地元小学生協力のもと「サクラ」と「ハナモモ」の記念植樹を実施しました。



広報委員会より

2月の大雪、4月の消費増税と気分的に暗くなるような毎日です。本年度最初の会報になりますが、会員皆様に親しまれる会報になるよう委員一同がんばっております。日頃よりご指導ご協力ありがとうございます。

そんな中、「鶴瓶の家族に乾杯」の撮影が安曇野で行われ、たまたま私の店に飛び込みました。(NHK・右の写真)ゲストの櫻井翔と知り合い(「神様のカルテ」の撮影)であったため4年ぶりの再会でした。

思わず気持ちが明るくなり今後の仕事の上で励みにしてがんばろうと思っております。

広報委員長 野本 昭一
 副委員長 岩垂 直次
 副委員長 下里 久代

建設関連資格取得講習

- ・車両系建設機械運転技能講習
6月7日(土)・8日(日)・14日(土)
 - ・玉掛け技能講習
8月30日(土)・31日(日)・9月6日(土)
- ※上記2講習は両日とも8時30分から17時30分開催です。正しい知識を身に付け安全に作業を行うための講習です。大勢のご参加をお待ちしております。
- 主催 建設業部会
 問い合わせ 堀金支所(TEL0263-72-5123)
 担当:平川

信州安曇野あやめ祭りが第30回を迎えます

安曇野市の初夏の風物詩である信州安曇野あやめ祭りが今年30回目の開催を迎えます。
 期間は6月18日(水)~30日(月)、場所は安曇野市明科「あやめ公園・龍門淵公園」で開催されます。
 昨年はあやめ祭りを盛り上げるためのキャラクター「リーリオ」もお披露目され、様々な場面であやめ祭りをPRしていきます。
 大勢のご来場をお待ちしています。

人事異動 商工会職員の呼称改正

- 3月31日付**
 観光特産コーディネーター 山崎 弘
 ※安曇野市地域資源活用異業種連携ネットワーク協議会
 コーディネーターとして転籍
- 4月1日付**
 穂高支所 主任経営支援員 宮澤 一生
 ※三郷支所より異動

【平成25年度末までの職名】	【新しい職名】
経営指導員	統括経営支援員 副統括経営支援員 主任経営支援員
補助員	経営支援員
記帳指導職員	記帳支援職員
記帳指導員	記帳支援員
事務職員(一般職員)	業務担当